

取扱説明書

DUAL GAUGE PRO

カプラーオンタイプ

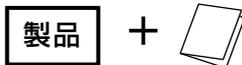
水温+デジタル

DPW

86&BRZ 専用モデル

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

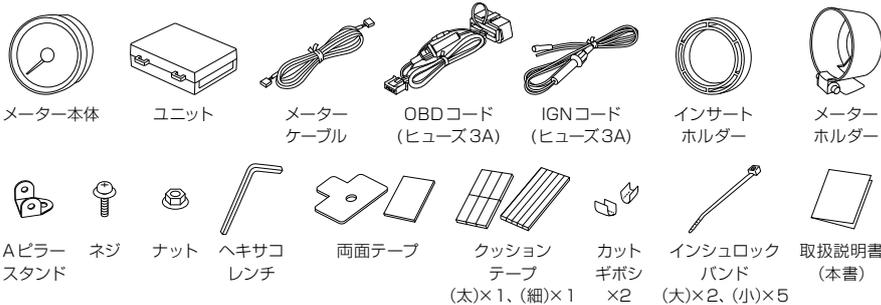
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



目次

内容物・警告・注意	1
特長	1
各部の名称と表示の種類	1
基本配線と装着イメージ	2
インサートホルダーを使用した場合の装着	2~3
インサートホルダーを使用しない場合の装着	3
基本操作方法	4
表示の切り換え方法	4
照明の切り換え方法	4
照明の明るさ調整	4
故障かな?と思ったら	4

内容物をご確認ください



1. ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しない場合があります。
2. 故障診断コネクターを利用する他社の製品とは併用できません。
3. PIVOT製 OBD 装着製品の併用についての詳細は、こちらをご確認ください。 ⇒ <https://pivotjp.com/obd/>

警告

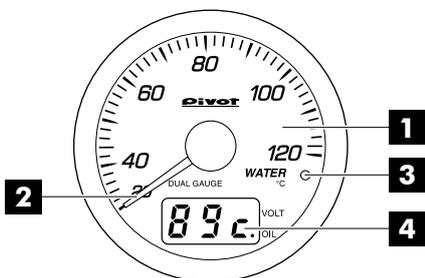
- 下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
 - コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輛破損の危険があります。
 - 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
 - 製品の固定、配線処理は確実に
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意

- 下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。
- DC12V車で使用
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
 - 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
 - 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
 - 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
 - ネジ・部品は元の状態に戻す
 - まぶしく感じる場所には装着しない
 - 加工・分解および改造をしない

特長

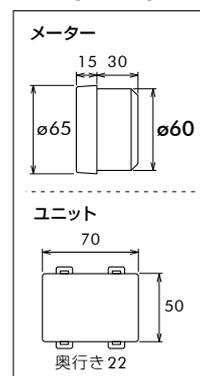
純正メーターと同様のスケールデザイン、ホワイトとレッドの照明切り換え、送風可能でエアコン吹き出し口にも装着できるインサートホルダーを付属。



各部の名称と表示の種類

1 アナログ表示部	水温のデータを表示	
2 針	現在の数値やピーク値を表示	
3 スイッチ	デジタル部の表示切り換え・ピーク値の表示とリセット	
4 デジタル表示部	電圧・油温を切り換え表示	
5 イルミ (夜間照明)	表示中イルミは常時点灯・3段階調光可能	
6 表示範囲	アナログ表示部	文字：白 or 赤 (切り換え可能) 針：赤
	デジタル表示部	赤
アナログ表示部	水温	[20 ~ 120 °C]
	電圧	[8V ~ 18V]
デジタル表示部	油温	[-35 ~ 150 °C]

サイズ [単位:mm]



基本配線と装着イメージ

基本配線図

各配線はキーをOFFにし、抜いた状態で行ってください。

メーター背面
4Pコネクタ (1.5m)
5Pコネクタ
ユニット
故障診断コネクタ
2Pコネクタ (使用しません)
3Pコネクタ (使用しません)
6Pコネクタ
(0.5m)

装着イメージ

メーター
OBDコネクタ
故障診断コネクタへ
ユニット

インサートホルダーを使用した場合の装着

1 各パネルの取りはずし ①～③の順で取りはずす ■=クリップ・フックの位置

① サイドパネル (クリップ4ヶ所・フック1ヶ所)
② ネジ2ヶ所
③ アンダーカバー (クリップ4ヶ所・フック4ヶ所)

2 吹き出し口の取りはずし

吹き出し口を取りはずす (フック3ヶ所)
■=フックの位置

3 付属のインサートホルダーにクッションテープを貼る

クッションテープ (太) (3ヶ所)

4 吹き出し口を分解し、インサートホルダーと吹き出し口Cを入れ換える

① 吹き出し口A (フック3ヶ所) ② 吹き出し口B (フック3ヶ所) 吹き出し口C 吹き出し口D

吹き出し口は①②の順で分解し、吹き出し口Cとインサートホルダーを入れ換え後、逆の手順で元にもどす。

インサートホルダー
クッションテープ (太) (3ヶ所)

5 車輻の送風ダクトにケーブルを通す穴をあける

メーターケーブルを通す穴を、図の位置 (車輻側ダクトの平らな場所) にカッター等であける

送風ダクト
穴あけ位置

10mm以上 穴の寸法
6mm以上

6 メーターケーブルを 5 であけた穴に通して、吹き出し口裏側から通し、吹き出し口を元の位置に戻す

吹き出し口の裏から通す
4Pコネクタ
送風ダクト
穴から通す

7 メーターにクッションテープを貼る、6 で通した4Pコネクタを接続し、圧入の要領で吹き出し口のインサートホルダーに差し込む

クッションテープ (太) (3ヶ所)
4Pコネクタ

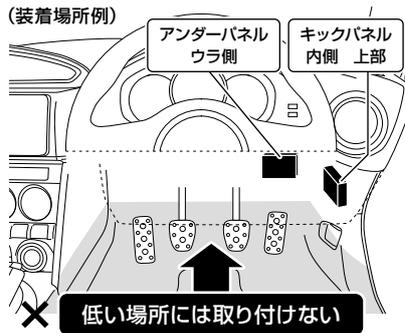
8 ユニットにメーターケーブルの5Pコネクタと電源コードの6Pコネクタを接続し、ユニットを固定する ⇒3ページ 図※1【ユニットの固定】参照

9 車輻の故障診断コネクタに電源コードを接続し、あまったケーブル類をまとめる

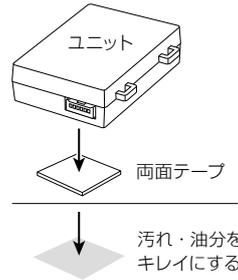
10 ①の逆の手順で、各パネルを元に戻す

※1 ユニットの固定

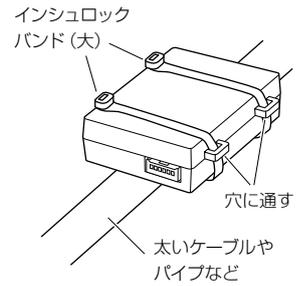
右図のような、水のかからない場所に固定してください。



平面上に固定する



ケーブルやパイプなどに固定する



インサートホルダーを使用しない場合の装着

- ・メーターの設置場所を決め、メーターに4Pコネクターを接続し、固定する
- ・ユニットにメーターケーブルの5Pコネクターと電源コードの6Pコネクターを接続し、ユニットを固定する ⇒ 上図※1【ユニットの固定】参照
- ・車輛の故障診断コネクターに電源コードを接続し、あまったケーブル類をまとめる

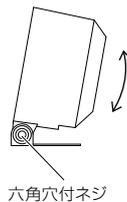
A メーターホルダーを使用する場合

- ① メーターホルダーを両面テープで固定する。

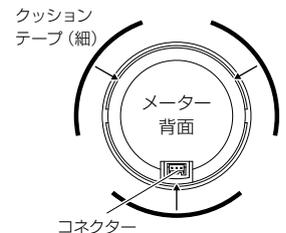
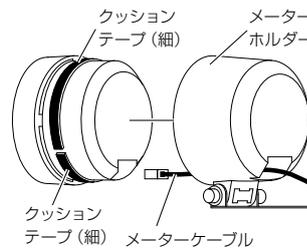


※粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。

- ② ネジを少しゆるめ、見やすい角度に合わせた後、ネジを締め固定する。

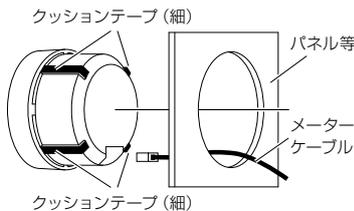
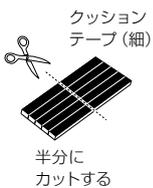


- ③ メーターにクッションテープを貼りメーターケーブルを接続しメーターホルダーに差し込む。抜けやすい場合等はクッションテープを追加してください。



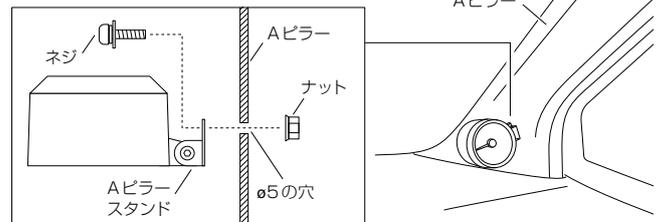
B パネル等に埋め込む場合

クッションテープを半分にカットし、圧入状態になるように枚数を調整してメーターに貼り、メーターケーブルを接続しパネル等に差し込む。



C Aピラースタンドを使用してAピラーへ取り付けの場合

Aピラーの取り付けたい位置にφ5の穴を開け、Aピラースタンドを使用しネジとナットで固定します。



OBDコネクター取扱時の注意点

差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。

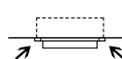


⚠ 注意

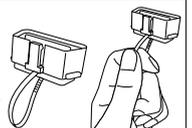
コネクター抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

凸部を握れない場合

車種によっては、コネクターが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。



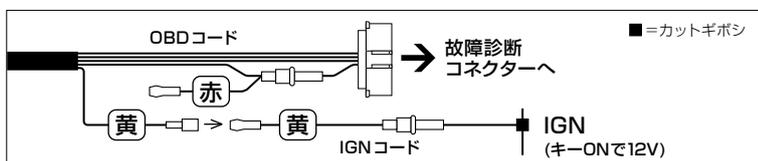
その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。



電源をIGN接続する場合 (対応車表に記載がある車種、又は作動に支障がある車種)

メーターの起動と停止は電源接続方法で異なります。

常時 (IGNコード使用なし)	IGN (IGNコード使用)
ECUに連動	キースイッチに連動



- OBDコードの(赤)と(黄)コードのコネクターを抜き、(黄)コードのコネクターにIGNコードを接続し車輛のIGNへ接続。(ACC不可)

カットギボシの使い方

1 10mm 接続するコードの被ふくをむく。	2 10mm 製品コード先端の被ふくをむく。	3 両方の芯線を絡める。
4 確実にかしめる。	5 ビニールテープで絶縁する。	

かしめる際は圧着ペンチを使用するかペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。

基本操作方法

- 1 エンジンを始動する
- 2 オープニングデモ 
- 3 各表示 
- 4 エンジンを停止する
- 5 メーター OFF  針は最低値付近で止まります。

オープニングデモ

- キー ON時に針の位置を検出するため、もっとも左側の位置へ数回動き、その後最大値を指し、表示項目に移行します。
- 車輛側との通信の関係上、エンジン始動後オープニングデモまで数秒かかる場合があります。(IGN接続時は除く)

表示部の消灯について

- 車輛側との通信の関係上、エンジン停止から表示がOFF(消灯)するまで最長1分かかりますが、正常な動作でクルマ側への負担は一切ありません。(IGN接続時は除く)

表示の切り換え方法

デジタル表示の切り換え

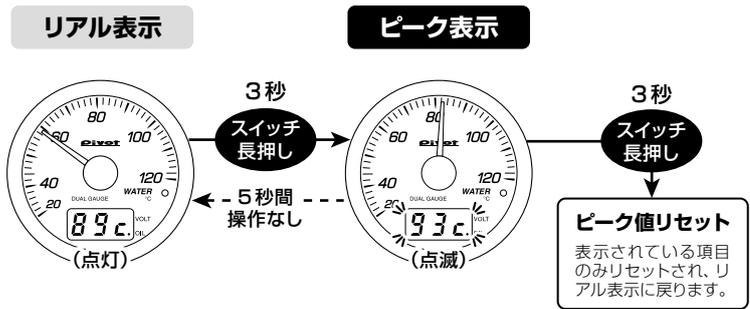


油温表示の見かた

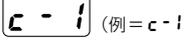
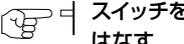
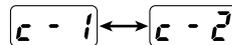
-35 ~ -1°C 左の7セグが- (マイナス) - 00	0 ~ 99°C 右の7セグがC 00 C	100 ~ 150°C 数値のみの表示 100
--------------------------------------	-----------------------------	-------------------------------

ピーク値の表示とリセット

*各ピーク値は、キー OFF でリセットされます。

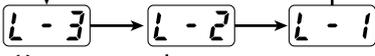


照明の切り換え方法

- 1  +  エンジン始動
メーター消灯時にスイッチを押したままエンジンを始動する
- 2 現在の照明色の設定がデジタル表示部に表示されたら  (例=c-1)  スwitchをはなす
- 3  スwitchを押すごとに照明色が切り換る  (例=c-1) ↔  (例=c-2) [c-1 = 白、c-2 = 赤]
- 4  設定を合わせたらスswitchをはなす
- 5  5秒間操作なしで通常表示に戻る **設定完了**

照明の明るさ調整

ドアミラーなどに照明が反射し気になる場合などの調整

- 1   スwitch 6秒長押し
メーター動作中にスswitchを長押しします
- 2 3秒後にピーク値、6秒後に現在の明るさを表示  (例=L-3)
- 3  現在の設定が表示されたらスswitchをはなす
- 4  スwitchを押すごとに明るさが切り換る  (High) → (Mid) → (Low)
- 5  設定を合わせたらスswitchをはなす
- 6  5秒間操作なしで通常表示に戻る **設定完了**

故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	メーターケーブル 6Pコネクター OBDコネクター の接続不良。 対応外の車種に取り付けている。	再度ご確認ください。 対応車表をご確認ください。
始動時に切り換えたデジタル表示から始まらない。	デジタル表示切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると、設定は記憶されません。3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
オープニングデモ前に針が一瞬動く。	メーターの特性で、異常ではありません。	
表示が純正メーターや他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正メーターや他のメーターと誤差が生じる場合があります。	

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。